

令和6(2024)年度 奥田元宋・小由女美術館 事業報告

令和5年9月1日(金)から空調設備改修工事のため臨時休館していたが、改修工事が令和6年3月末で終了し、4月27日(土)から再開館した。

三次市の芸術・文化・教育の振興、並びに地域文化の発展を図ることをめざし、次の事業を行った。

8月30日(金)は台風接近により、来館者の安全を考慮して臨時休館とした。

【公益目的事業】

1 展示事業

(1) 常設展の開催

名 称	会 期(開館日数)	入館者数
令和6年度第1期常設展 「奥田元宋と奥田小由女の世界」	4月27日～6月18日 (47日間) 常設のみの期間なし	137人
1	【概要】元宋作品は春から初夏の季節感に合わせ、《春耀》や《花ひらく南房》《尾瀬》などを展示した。小由女作品は《終熄への祈り》《令和に明けゆく》などの近作とともに近年新収蔵となった作品も交えて紹介した。	
第2期常設展 「奥田元宋と奥田小由女の世界」	6月20日～9月24日 (84日間) ※8月30日(金)は臨時休館 常設のみ：14日間	319人
2	【概要】元宋1展示室では戦後から晩年にいたる大作を公開。また元宋2展示室では画業初期の水墨画から戦前から戦後にかけての花鳥画・風景画を展示し、元宋の幅広い作風を紹介した。小由女作品は、流れるような形態を中心とする「白の時代」の作品から、夏をイメージして寒色系の作品などを含めた「色彩の時代」の代表作を紹介。当館初公開の作品《鳥》も展示した。	
第3期常設展 「奥田元宋と奥田小由女の世界」	9月26日～12月17日 (72日間) 常設のみ：6日間	492人
3	【概要】元宋作品は秋の景色として《綵苑》や《彩溪涼々》《秋岳懸泉》などを紹介。広島県立美術館での企画展に因み当館所蔵の児玉希望作品も展示した。小由女作品は「白の時代」の点数を増やして紹介。《復興のともし火》《天空への祈り》など祈りをテーマとする作品もピックアップして展示した。	
第4期常設展 「奥田元宋と奥田小由女の世界」	12月19日～令和7(2025)年3月11日 (68日間) 常設のみ：30日間	228人
4	【概要】元宋作品では冬から春に繋がる作風の作品を含め、「元宋の赤」の大作や初期作の掛け軸などを展示した。小由女作品は「色彩の時代」の点数を増やして紹介。近年寄贈された《富貴花》を当館で初めて展示した。	

	令和7年度第1期常設展 「奥田元宋と奥田小由女の世界」	令和7(2025)年3月13日～3月31日 (17日間) 常設のみの期間なし	
5	【概要】元宋作品では《寂靜》《春耀》といった桜を描いた作品や1950年代の色彩豊かな作品で春を演出し、他に「元宋の赤」の大作や掛け軸などを展示。小由女作品は「色彩の時代」を中心に紹介。元宋・小由女の共作《春陽清韻》を展示。		44人
合 計(常設展のみ50日間)			1,220人

(2) 企画展の開催

	名 称	会 期(開館日数)	入館者数
1	日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ	4月27日～6月23日 (51日間)	6,789人
	<p>【概要】豊かな暮らしを演出する北欧デザインの中かからデンマークとスウェーデンに焦点をあて、国内外の個人コレクションから19世紀末から20世紀の陶磁器、銀器、ガラス器を中心に約200点を展示し北欧デザインの魅力を紹介した。</p> <p>(関連イベント)</p> <p>5月19日(日) 塩川博義氏講演会/参加者32名 5月26日(日) 学芸員によるギャラリートーク/参加者16人 6月9日(日) 学芸員によるギャラリートーク/参加者21人</p> <p>(企画展主催者：当美術館、中国放送、中国新聞社)</p>		
2	久保 修 紙のジャポニスム	7月4日～8月27日 (49日間)	8,163人
	<p>【概要】美しい日本の原風景を切り取って描き、世界や未来に向けて発信する切り絵画家・久保修。その140点以上の作品と資料を一堂に展示し、初期から近作までの画業を幅広く紹介した。本展は「子どもたちに贈る三次の夏休み みよし風土記の丘ミュージアム 奥田元宋・小由女美術館 三次もののけミュージアム 三次商工会議所 ジョイント事業」の一環として実施した。</p> <p>(関連イベント)</p> <p>7月27日(土)・28日(日) 久保修氏ギャラリートーク/参加者各日 約60人 7月27日(土)・28日(日) 久保修氏による「切り絵で灯籠を制作」ワークショップ /参加者27日13人、28日11人 8月3日(土)・4日(日) 切り絵でキーホルダーを作るワークショップ /参加者3日11人、4日10人</p> <p>(企画展主催者：当美術館、中国放送、中国新聞社)</p>		

2 調査研究，収集保管事業

(1) 調査研究

奥田元宋の習作・スケッチ類の分類整理作業を継続中である。また、所蔵作品及び資料のデータベース化を行っている。

(2) 作品収集

奥田元宋・小由女作品についての寄贈・寄託の受け入れを継続している。

(3) 作品活用

ア 「奥田元宋・小由女ふたりの美術館」展が一宮市三岸節子記念美術館で開催され、当館から作品の貸出を行った。また、7月13日(土)14:00から当館学芸員が現地に赴いてギャラリートークを行った。入館者数：3,175人

イ 「近代日本画の真髄 児玉希望」展が広島県立美術館で開催され、当館所蔵の作品1点及び受託作品1点の貸出を行った。

3 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー等活用事業

市内各種文化団体の作品の成果の発表の場として展示会場を提供した。

月 日	内 容	人 数
12月21日(土)	お茶稽古(茶室)	3人
10月29日(火) ～11月5日(火)	三次市内児童生徒写生大会 特別賞作品展示	ロビー展示のため カウント無し
令和7(2025)年 1月18日(土) ～1月23日(木)	令和6年度 広島県高等学校総合文化祭 三次地区「美術・工芸・写真展」	139人
2月2日(日) ～2月9日(日)	三次市文化連盟 第21回三次文化祭「美術展」	330人
合 計		472人

(2) ロビーコンサート事業

満月の日に、地元三次市内等で活躍する個人や団体の発表の場としてコンサートを実施した。

月 日	コ ン サ ー ト 内 容	人 数
4月27日(土)	リニューアルオープン記念コンサート 沖田孝司(ヴィオラ)・沖田千春(ピアノ)	75人
5月23日(木)	沖田孝司(ヴィオラ)・沖田千春(ピアノ)	112人
6月22日(土)	青山朋永(ヴァイオリン)・青山佳子(ピアノ)	160人
7月20日(土)	佐々木リョウ(シンガーソングライター)	162人
8月20日(火)	淀川萌(ソプラノ)・松浦洋子(ハープ)	163人
9月17日(火)	川東陽華(長唄三味線)・きくちレイコ(ピアノ)	150人

9月18日(水)	淀川萌(ソプラノ)・温井泰世(トランペット)・若松弥々(ピアノ)	207人
10月17日(木)	MIDORI(ボサノヴァ歌手)・ウ・ソン・ドウ・シレンシオバンド	185人
11月16日(土)	竹晴会若竹(三絃、箏、十七絃、尺八)	200人
12月15日(日)	塚崎美子・松田亜希子(マリンバ連弾)	158人
令和7(2025)年 1月3日(金)	ニューイヤーコンサート 沖田孝司(ヴィオラ)・沖田千春(ピアノ)	114人
3月14日(金)	児玉杏実(ヴァイオリン)・福永真実(ピアノ)	244人
合 計		1,930人

(3) 学校連携事業 鑑賞事業

鑑賞希望の学校と連携し、鑑賞のルールや展示作品についての概要説明など事前学習を行ってから鑑賞を実施、児童生徒の芸術鑑賞に寄与している。

対 象	参加校数	参加人数	備 考
小学生	3校	54人	
中学生	2校	43人	アーティストによるギャラリートーク 「金魚美抄2024」展関連 講師：深堀隆介氏(美術家・企画展監修者) ・9月5日(木)塩町中学校(美術部)25名 ・9月6日(金)十日市中学校(美術部)18名
合 計	5校	97人	

4 広報、宣伝活動事業

(1) 各企画展に伴う広報内容

	企 画 展 名	広 報 内 容
1	日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ	中国新聞社(紙面広告・作品解説連載等)、中国放送(ラジオCM、WEBサイト、電話出演)、エフエムふくやま(電話出演)、エフエムおのみち(電話出演)、三次ケーブルビジョン(展覧会紹介等)、広島市情報紙りーぶら、その他テレビニュース報道内、雑誌・季刊誌・WEBサイト、SNS(Facebook・Instagram・X)。
2	久保 修 紙のジャポニスム	中国新聞社(紙面広告・作品解説連載等)、中国放送(ラジオCM、電話出演等)、エフエムふくやま(電話出演)、三次ケーブルビジョン(展覧会紹介等)、その他テレビニュース報道内、雑誌・季刊誌・WEBサイト。

3	金魚美抄 2024 —金魚を描くアーティストたち—	テレビ CM(地上波・TSS テレビ新広島)、コミュニティ放送出演、三次ケーブルビジョン、その他テレビニュース報道内、雑誌・季刊誌・WEB サイト、SNS (Facebook・Instagram・X)。
4	熊田千佳慕の世界展 —愛するからこそ美しい—	中国新聞社(紙面広告・作品解説連載等)、中国放送(ラジオ CM、WEB サイト、電話出演)、エフエムふくやま(電話出演)、広島エフエム(チケットプレゼント企画)、三次ケーブルビジョン、広島市情報誌りーぶら、その他テレビニュース報道内、雑誌・季刊誌・WEB サイト、SNS (Facebook・Instagram・X)、Youtube 広告。
5	白洲次郎と白洲正子 ふたりの暮らした武相荘	テレビ CM(地上波・中国放送)、コミュニティ放送出演、三次ケーブルビジョン、その他テレビニュース報道内、雑誌・季刊誌・WEB サイト、SNS (Facebook・Instagram・X)。

(2) その他広報、宣伝活動

ア 情報発信

地域の芸術、文化の振興に寄与することを目的に、美術館や常設展、企画展についての情報提供を積極的に行った。

① 美術館ホームページ、SNS による WEB 上での情報発信

《SNS 登録者数》

令和 7 年 3 月 31 日現在

Twitter	Facebook	Instagram	YouTube	LINE
1,692	245	1,379	155	312

② 展覧会に関するラジオ CM、新聞広告等マスコミによる報道、ポスター・チラシの配布。

イ 独自の事業・イベント活動

① Instagram フォトコンテストを実施し、入賞作品 8 点をホームページにアップし館内掲示を行った。

コンテスト名	実施期間	投稿数
自慢の満月フォト 2024 春	4 月 24 日(水)～6 月 24 日(月)	59 点
自慢の満月フォト 2024 秋	9 月 17 日(火)～11 月 18 日(月)	154 点

- ② コールドムーン観望会（～天体望遠鏡でみる月と木星～）
12月15日（日）18：00～19：00 参加人数 22名
当日天候不順により当館の観月アドバイザーで月の案内人の繪堂氏による繪堂氏撮影の天体写真を館内で見ながらの解説会に変更。
- ③ 美術館ニュースの発行（令和6（2024）年6月及び9月発行：各1,000部）

ウ 企業・地域と連携した活動

- ① 備北交通株式会社と連携し、直行便（広島バスセンター～美術館の往復）を運行。
- ② AR映像体験イベント「ソラ水族館」の開催
 - ・開催日：9月21日（土）・22日（日）・23日（月）
 - ・参加費：600円 延べ参加者数：211名
 - ・美術館ロビーにて、株式会社大昌工芸の持ち込み企画として開催。
- ③ 三次ワイナリー×トレッタみよし×奥田元宋・小由女美術館3施設によるハロウィンスタンプラリー実施。
 - ・10月1日（火）～10月31日（木） （応募箱投函枚数 172枚）

5 美術館ボランティア「OGS 夢スタッフ」の活動状況

(1) 総括

美術館ボランティアにより監視等に対応している。また、奥田元宋・小由女作品についての基礎研究及び各企画展についての研修の充実を図りながら、より質の高い常設展並びに企画展事業となるよう努めている。

ア 登録総数 165 人（前年度比 26 人減）延べ活動者数 2,562 人

イ 活動内容

グループ名	人数	活 動 内 容
受付・監視	153 人	展示室前でのチケット確認や展示室内での監視
環境美化	9 人	毎週月曜日朝、館外の植栽等の手入や敷地内の環境整備
広 報	5 人	会報を奇数月の隔月で発行
呈 茶	7 人	呈茶席を担当
イベント ・事務補助	11 人	満月ロビーコンサートの司会を担当・展覧会の印刷物発送作業

※ 人数は所属グループに重複があるため登録総数に一致しない。

ウ ボランティア年間行事

行 事 名	実 施 日	会場・訪問先等	参加人数
レストランでの 交 流 会	4月17日(水)	レストラン洋食工房	22人
近隣美術館めぐり	9月11日(水)	美術館あーとあい・きさ 三良坂平和美術館	15人 14人
先進地視察研修	10月24日(木) 10月27日(日)	下瀬美術館(大竹市) 広島県立美術館(広島市)	27人 15人
門松設置作業	12月9日(日)	奥田元宋・小由女美術館正面玄関	10人
実技研修水彩画	令和7(2025)年 2月16日(日)	酒屋コミュニティセンター	19人
※マナー講師による 接遇研修	4月16日(水)	奥田元宋・小由女美術館ロビー	24人
合 計			146人

※ 令和6年度計画で令和7年度実施

エ 各企画展内覧会、企画展研修会の実施

企 画 展 名	実 施 日	摘 要	参加人数
日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ	4月27日(土)	内 覧 会	18人
	5月10日(金) 5月11日(土)	研修2回実施	7人 6人
	7月3日(水)	内 覧 会	10人
久保 修 紙のジャポニスム	7月5日(金) 7月6日(土)	研修2回実施	10人 12人
	9月4日(水)	内 覧 会	11人
金魚美抄 2024 —金魚を描くアーティストたち—	9月5日(木) 9月7日(土)	研修2回実施	6人 11人
	10月30日(水)	内 覧 会	13人
熊田千佳慕の世界展 —愛するからこそ美しい	11月1日(金) 11月2日(土)	研修2回実施	8人 13人
	2月20日(木)	内 覧 会	11人
白洲次郎と白洲正子 ふたりの暮らした武相荘	2月21日(金) 2月22日(土)	研修2回実施	12人 16人

【収益事業】

1 美術関連品提供事業（ショップ事業）

(1) 常設ショップ

- ア 元宋・小由女作品のオリジナルグッズを中心に販売を実施。
また、地元で活躍する作家を紹介し、期間を定めて販売を行った。

商品売上額 3,379,290 円（内図録販売額 148,425 円）

- イ 元宋・小由女作品複製画販売 複製画 3点（元宋2点／小由女1点）

商品売上額 748,000 円（手数料収入額 167,200 円）

- ウ 常設ショップで紹介した地元作家

- ・ガラス作家 末国 清吉（山巔堂）
- ・藍染作家 坂口奈津子（染め工房奈つ）
- ・金属造形作家 的場 由樹

(2) 企画ショップ

- 各企画展において関連グッズや関連書籍の販売を実施。
（販売は委託販売で手数料収入とする。）

企画展名	売上額	手数料収入額
日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ	3,377,046 円	531,905 円
久保修 紙のジャポニスム	8,433,142 円	1,514,564 円
金魚美抄 2024 —金魚を描くアーティストたち—	6,056,897 円	861,584 円
熊田千佳慕の世界展 —愛するからこそ美しい	4,305,963 円	740,138 円
白洲次郎と白洲正子 ふたりの暮らした武相荘	2,990,443 円	536,106 円
合計	25,163,491 円	4,184,297 円

2 レストラン賃貸借事業

- 年間を通じて安定したレストラン経営ができるようサポートし、賃貸借事業を実施した。

月	利用者数	企画展名
4	277 人	日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ 4月27日(土)～6月23日(日)
5	1,508 人	
6	1,366 人	

7	1,168人	久保修 紙のジャポニスム 7月4日(木)～8月27日(火)
8	1,684人	
9	1,488人	金魚美抄 2024 ー金魚を描くアーティストたちー 9月5日(木)～10月22日(火)
10	1,266人	
11	1,258人	熊田千佳慕の世界展 ー愛するからこそ美しい 10月31日(木)～1月13日(月・祝)
12	961人	
2025年 1	752人	
2	683人	白洲次郎と白洲正子 ふたりの暮らした武相荘 2月20日(木)～3月31日(月)
3	1,421人	
合計	13,832人	(40.9人/日)

3 茶室運営事業

呈茶のサービスを通して、来館者の方々に「奥田元宋・小由女の世界」をより堪能していただくことを目的として実施している。茶室「待月庵」にて呈茶を行うボランティア「茶室協議会」の協力で、土日祝日を中心に呈茶サービスを実施した。

《呈茶実施状況》

開催日数	28日
利用客数	704人
協力登録団体	5団体(裏千家, 表千家, 上田宗箇流, 松蔭流, OGS夢スタッフ)

【その他事業】(相互扶助事業)

1 美術館サポートメンバー向け事業

奥田元宋・小由女美術館の魅力を企画展や広報活動を通じて市内外に発信し、サポートメンバーの加入促進を図った。

(1) サポートメンバー加入状況

一般：118人 特別：203人 法人：34団体 法人特別：5団体

合計 360 会員

(2) 法人特別会員制の創設

令和6(2024)年度より法人向けの特別会員制を創設した。

区分	年会費	常設展優待	企画展優待	ショップ等優待
法人特別会員	200,000円	無料 (社員証の提示)	各企画展の招待券50枚を進呈	5%割引
	【その他の特典】 ※ 企画展カタログ進呈(カタログがある場合) ※ 美術館発行の印刷物及びホームページへの企業名掲載 ※ その他法人特別会員限定イベント等へご招待 など			

(3) 令和6(2024)年度法人特別会員

賀茂鶴酒造株式会社、医療社団法人こね森内科医院、備北交通株式会社
ミサワ環境技術株式会社、丸善製薬株式会社

(4) サポートメンバー対象事業

事業名称	実施日	場 所	参加人数
アレクサンダー・コプリン スペシャルロビーコンサート	10月26日(土)	奥田元宋・小由女美術館 ロビー	64人 ボランティア 参加含む
観る・聴く・味わう 最高の芸術	11月22日(金)	奥田元宋・小由女美術館 ロビー・レストラン洋食工房	42人
アートとワインの夕べ	令和7(2025)年 3月15日(土)	奥田元宋・小由女美術館 ロビー・レストラン洋食工房	15人 一般参加含む
合 計			121人

【法人関係】

令和6(2024)年度評議員会及び理事会の開催

評議員会、理事会を次のとおり開催した。

日 時	会 議 名	議 事 等
令和6(2024)年 6月5日(水)13:30~	令和6(2024)年度 第1回理事会	◆ 令和5(2023)年度 事業報告について ◆ 令和5(2023)年度 決算報告について ◆ 令和6(2024)年度 第1回定時評議員会の 招集について ◆ 理事長等の職務執行状況について
令和6(2024)年 6月27日(木)10:00~	令和6(2024)年度 第1回評議員会	◆ 評議員会議長の選出について ◆ 令和5(2023)年度 事業報告について ◆ 令和5(2023)年度 決算報告について
令和6(2024)年 11月15日(金)14:00~	令和6(2024)年度 第2回理事会	◆ 令和6(2024)年度 前期事業報告について ◆ 令和6(2024)年度 前期収支報告について ◆ 理事長等の職務執行状況について ◆ 令和7(2025)年度 企画展(案)について
令和7(2025)年 3月10日(月)14:00~	令和6(2024)年度 第3回理事会	◆ 令和7(2025)年度 事業計画(案)について ◆ 令和7(2025)年度 収支予算(案)について ◆ 令和7(2025)年度 資金調達及び設備投資 の見込み(案)について ◆ 基本財産への繰り入について ◆ 理事の候補者の決定について ◆ 令和6(2024)年度 第2回定時評議員会の 開催について

令和 7 (2025) 年 3 月 25 日 (火) 13 : 00 ~	令和 6 (2024) 年度 第 2 回評議員会	◆ 令和 7 (2025) 年度 事業計画(案)について ◆ 令和 7 (2025) 年度 収支予算(案)について ◆ 令和 7 (2025) 年度 資金調達及び設備投資 の見込み(案)について ◆ 基本財産への繰り入について
---	-----------------------------	---

令和6(2024)年度 三良坂平和美術館事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興、並びに地域文化の発展を図ることを目指し、次の事業を行った。

8月30日(金)は台風接近により、来館者の安全を考慮して臨時休館とした。

1 展示事業

(1) 常設展の開催

柿手春三作品を展示する。

	名 称	会 期 (開館日数)	入館者数
1	I期 春のきざし	4月2日～6月2日 (56日間) 常設のみ：3日間	8人
	【概要】柿手が描いた春の風景を展示。		
2	II期 夏のにおい	6月8日～7月15日 (33日間) 常設のみ：6日間	—
	【概要】柿手が描いた夏の風景を展示。		
3	III期 平 和	7月20日～8月12日 (21日間) 常設のみの期間なし	—
	【概要】柿手が生涯求めた平和をテーマにした作品		
4	IV期 秋のけはい	9月1日～11月24日 (77日間) 常設のみの期間なし	—
	【概要】柿手が描いた秋を感じる作品を展示。		
5	V期 冬のおとずれ	11月27日～12月1日 (5日間) 令和7(2025)年1月4日 ～3月16日 (64日間) 常設のみの期間なし	—
	【概要】柿手が描いた冬を感じられる作品を展示。		
合 計(常設展のみ9日間)			8人

(2) 企画展の開催

	名 称	会 期 (開館日数)	入館者数
1	原田武金属造形展	4月5日～6月2日 (51日間)	752人
	【概要】鍛金、彫金、象嵌など、金属工芸の技術を駆使した作品を造る原田武。広島市立大学を卒業後も様々な生き物をテーマに制作を続ける原田の近作を紹介した。		
2	県北アートシーン 34th	6月15日～7月15日 (27日間)	718人
	【概要】絵画、立体、写真、陶芸等、ジャンルの幅を広げ展示し、県北在住ならびに県北に所縁のある、現在活躍中の作家の優れた作品を広く地域の人々に紹介した。		

3	38 回 平和 展	第 12 回平和の灯ろう コンテスト作品展	7 月 20 日～7 月 31 日 (10 日間)	284 人
		【概要】 広く平和祈念の機運を高めることを目的に「第 12 回平和の灯ろうコンテスト」の応募作品をすべて展示した。		
4		平 和	8 月 3 日～8 月 12 日 (9 日間)	116 人
		【概要】 柿手春三の描いた「平和」をテーマにした作品を紹介した。		
5		ダンボールワンダーランド	9 月 1 日～11 月 24 日 (77 日間)	7,907 人
		【概要】 体験型展示 第 3 弾 会場を 2 つに分け、第 1 の部屋は「迷路」第 2 の部屋は「遊びと工作」とし、来館者にそれぞれ身体と頭を使って美術を楽しんでもらう。ワークショップも毎日行う。また、広島在住の段ボールアーティスト、島村祥太氏の作品も紹介した。		
6		ACTIVE IN MIRASAKA	12 月 1 日～12 月 25 日 (21 日間)	169 人
		【概要】 県内の若手 8 名の作家によるグループ展。様々な技法や表現を紹介し、美術に対する理解と感心を深めてもらった。		
7		みらさかコレクション	令和 7 (2025) 年 1 月 4 日～3 月 16 日 (64 日間)	389 人
		【概要】 三良坂平和美術館が収蔵してきた作品の中から柿手春三の絵画作品を紹介するとともに、他の作家の油彩画・水彩画を紹介した。		
合 計				10,335 人

常設展 (9 日間) 8 人 企画展 (259 日間) 10,335 人

小計 268 日間 10,343 人

※貸会場等 269 人 合計 10,612 人

○ 総入館者数比較

年 度	入 館 者 数
令和 6 年度	10,612 人
令和 5 年度	11,353 人
増 減	△741 人

2 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー活用事業

企画展と企画展の間の期間を利用して、中学生・町内文化祭作品展等の展示会場として提供する。

月 日	内 容	人 数
8 月 14 日(水)～8 月 18 日(日)	県美展 巡回展	154 人
11 月 27 日(水)～12 月 1 日(日)	みらさか町民文化祭	115 人
合 計		269 人

(2) 地域連携事業

ア 鑑賞事業

展示作品の鑑賞を通して、児童生徒・園児や地域の方々に美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらった。

名 称	期 日	講 師	参加者数
原田武金属造形展	4月7日(日) 6月1日(土)	原田 武氏	16人 118人
平和の灯ろうコンテスト作品展	7月20日(土) ～7月31日(水)	館 長	121人
合 計			255人

イ ワークショップ事業

折鶴を使って灯籠作りなどのワークショップへの参加を町内の子どもからお年寄りまで幅広い層の方に呼びかける。完成作品は館内に展示するなど、ワークショップの取り組みを通して美術館に対する関心をより深めてもらった。

	名 称	実 施 日	講 師	参加者数																				
1	ダンボールワンダーランド 自由工作	期間中毎日	美術館職員	1,428人																				
2	ジオラマ制作	9月15日(日)・22日(日)・23日 (月祝)・28日(土)・29日(日) 10月6日(日)・14日(月祝)	YOJIGEN 生塩遥花氏 砂田晴人氏	142人																				
3	ダンボールで防災?	10月12日	三良坂 防災士会	40人																				
	第12回平和の灯ろう コンテスト	6月23日(日)締め切り	—	—																				
4	<p>【概要】広島市平和記念公園へ手向けられた「折り鶴」を「ちぎり絵」などに活用することで、広く平和祈念の機運を高めることを目的に「平和の灯ろうコンテスト」(三次市地域共創部 共生社会推進課 共生社会推進係と共催)開催した。</p> <p>◎応募について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人でも団体でも応募できる。 ・お渡しする灯ろう用紙と折り鶴を使用すること。 ・作品は平和に関連性を感じさせるものとする。 <p>◎賞の結果について (敬称略)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>幼児の部</th> <th>小学生の部</th> <th>中学生の部</th> <th>一般の部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大 賞</td> <td>こうぬ保育所 4. 3歳児</td> <td>和田小学校 6年生</td> <td>三良坂中学校 3年生</td> <td>デイサービスセンター 三次相扶園</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td>こうぬ保育所 5歳児</td> <td>三次小学校 3年1組</td> <td>川地中学校 1年生文芸部</td> <td>小規模多機能三良坂</td> </tr> <tr> <td>特別賞</td> <td>三良坂保育所 3歳児</td> <td>川地小学校 5年生 田邊舞夏</td> <td>十日市中学校 3年生 安藤蒼唯</td> <td>デイサービスセンター ウイズ</td> </tr> </tbody> </table> <p>応募数 (個人・団体合わせて) 453点 幼児の部：62点 小学生の部：158点 中学生の部：65点 一般の部：168点</p>					幼児の部	小学生の部	中学生の部	一般の部	大 賞	こうぬ保育所 4. 3歳児	和田小学校 6年生	三良坂中学校 3年生	デイサービスセンター 三次相扶園	優秀賞	こうぬ保育所 5歳児	三次小学校 3年1組	川地中学校 1年生文芸部	小規模多機能三良坂	特別賞	三良坂保育所 3歳児	川地小学校 5年生 田邊舞夏	十日市中学校 3年生 安藤蒼唯	デイサービスセンター ウイズ
	幼児の部	小学生の部	中学生の部	一般の部																				
大 賞	こうぬ保育所 4. 3歳児	和田小学校 6年生	三良坂中学校 3年生	デイサービスセンター 三次相扶園																				
優秀賞	こうぬ保育所 5歳児	三次小学校 3年1組	川地中学校 1年生文芸部	小規模多機能三良坂																				
特別賞	三良坂保育所 3歳児	川地小学校 5年生 田邊舞夏	十日市中学校 3年生 安藤蒼唯	デイサービスセンター ウイズ																				

令和6(2024)年度 美術館あーとあい・きさ及び吉舎歴史民俗資料館 事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興、並びに地域文化の発展を図ることを目指し、次の事業を行った。

8月30日(金)は台風接近により、来館者の安全を考慮して臨時休館とした。

I 美術館あーとあい・きさ事業

1 展示事業

奥田元宋・小由女夫妻の出身地にある美術館として、地元作家及び近年活躍の目覚ましい県内作家等の作品や長年継続して創作活動している団体の作品を県北の地で広く紹介し、地域の芸術・文化の振興への寄与を目的に開催した。

(1) 常設展の開催

	名 称	会期(開館日数)	入館者数 (常設展のみの期間)
1	常 設 展	4月1日～令和7(2025)年3月31日 (314日間)	101人
	【概要】当館所蔵の奥田元宋・小由女作品及び資料を、両氏の出身地にある美術館として通年展示し紹介した。		

(2) 企画展の開催

	名 称	会期(開館日数)	入館者数
1	杉原緑子・石原詠子二人展 －想いを形に－	4月1日～5月19日 (42日間) ※全会期 3月19日～(54日間)	310人
	【概要】誰の心にも内在する様々な想いを、二人の作家が油絵やミクストメディアなどそれぞれの技法を用いて表現した32点の作品を展示し紹介した。		
2	第18回 広島県日本画協会作品展 －それぞれの春夏秋冬－	6月1日～7月7日 (32日間)	313人
	【概要】18回目となる広島県日本画協会会員の作品35点を展示し紹介した。今年度も大型作品の出品を可とし迫力のある展示となった。		
3	立体切り絵作家 S o u M a の世界展	7月20日～8月31日 (37日間)	670人
	【概要】一枚の紙から立体切り絵作家S o u M aの超絶技巧によって生み出される奥深い精緻な「美」の世界を紹介した。		

4	長谷川雅敏展 —旅の画家45年—	9月10日～10月25日 (40日間)	476人
	【概要】 ヨーロッパや日本の風景画を中心に、作家の画業45年の足跡を辿る40点の作品を展示し紹介した。		
5	第20回 広島日展会総合小品展	11月3日～12月20日 (41日間)	299人
	【概要】 日本最大の公募展「日展」を舞台に活躍する広島日展会会員の幅広いジャンルの作品を一堂に会し展示し紹介した。		
6	吉舎町内 園児・児童・生徒作品展	令和7(2025)年1月10日～3月15日 (56日間)	268人
	【概要】 吉舎町内の園児及び小中高校生が授業などで再作した作品を2期に分けて展示し、子供たちの家族はもちろん地域住民や関係者に広く紹介した。		
合 計			2,336人

常設展 (307日間) 101人 企画展 (248日間) 2,336人

合計 307日間 2,437人

2 教育普及事業

(1) 地域連携事業

ア 鑑賞事業

幼少期から美術館に親しみ多くの美術作品に触れることにより美術に対する関心をより深めてもらうことや鑑賞力を涵養すること、また地域の方々には鑑賞を通して美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらうことを目的として計画した。

【団体鑑賞受入れ実績】

名 称	期 日	参加者数
美術作品鑑賞と資料館展示見学 (八幡小学校)	8月23日(金)	9人
美術作品鑑賞と資料館展示見学 (奥田元宋・小由女美術館ボランティア)	9月11日(水)	15人
美術作品鑑賞と資料館展示見学 (吉舎中学校1年生)	10月9日(水)	22人
美術作品鑑賞と資料館展示見学 (いきいきサロン花水木)	10月17日(木)	12人
おもてなしプラン事業 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学 (日彰館高校・広島大学留学生)	11月9日(土)	48人
企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学 (吉舎保育所)	令和7(2025)年 1月18日(土)	11人
合 計		117人

イ ワークショップ事業

日常にあるものを利用したモノづくりを通して芸術・文化の一端に触れ、美術に対する関心をより深めてもらうことを目的に実施した。

名 称	実施日	参加者数
ボックスアートづくり	5月5日(日)	10人
【概要】杉原緑子・石原詠子両氏が企画展会期中に主催して開催された。		
ワークショップ 立体切り絵体験教室 あなたも超絶技巧に挑戦！	7月20日(土)	15人
【概要】立体切り絵作家S o u M a氏の指導により立体切り絵に挑戦した。遠くは宮崎市からの参加もあり子供も大人も無心で制作され盛況だった。		
合 計		25人

Ⅱ 吉舎歴史民俗資料館事業

1 展示事業

三玉大塚古墳出土品、南天山上城跡出土品、和智氏関係資料及び昔の農家(囲炉裏)、民具・農具の展示を通して、郷土の歴史・文化に対する理解や親しみを深めてもらいながら、地域文化の向上に寄与することを目的に開催した。

(1) 常設展の開催

吉舎町の豊かな歴史文化と伝統を背景とした貴重な遺物や資料等を通年展示した。(常設展のみの期間の入館者：40人)

(2) 企画展の開催

	名 称	会 期	入館者数
1	四季の作木 フォトコンテスト入賞作品展	4月49日～8月27日(103日間)	100人
	【概要】作木町観光推進協会及び作木町自治連合会の協力を得て、自然豊かな作木町の四季折々の魅力を活写したフォトコンテスト入賞作品やJR三江線の写真等30枚あまりを展示し紹介した。		
2	記念缶コレクションと 世界の民芸展	9月3日～9月26日(21日間)	59人
	【概要】郷土人形館よりみちぼっこが長年にわたり収集してきた記念缶や世界各地の民俗・風習から生まれたお面や人形等を展示し紹介した。		
3	未来に繋ぐー敷地の文化遺産ー	10月5日～12月24日(69日間)	55人
	【概要】吉舎町の敷地自治振興会の協力により、国指定重要文化財の奥家住宅を中心に当該地域に遺され継承されてきた歴史的遺産を紹介した。		

4	児童生徒の俳句・短歌作品展	令和7(2025)年 1月10日～2月24日(40日間)	12人
	【概要】三次市文化連盟主催の「みよし文化祭」に投稿された市内の小中高校生の作品の中から入賞した作品104点を展示・紹介し、子供の頃から文芸に親しむ態度を涵養する一助とした。		
合 計 (233日間)			226人

※入館者数は歴民館のみの入館者数（美術館と併せての入館者を除いた数字）

2 教育普及事業

(1) 地域連携事業

ア 鑑賞事業

児童生徒や地域の方々に、地域の歴史や昔の暮らしや民具・農具等に対する理解や親しみを深めてもらうことを目的に実施した。

(美術館団体鑑賞との重複 6件)

【団体鑑賞受入実績】

名 称	期 日	参加者数
総合学習及び社会科の歴史学習 (吉舎小学校6年生)	6月11日(火)	18人
美術作品鑑賞と資料館展示見学 (八幡小学校)	8月23日(金)	9人
美術作品鑑賞と資料館展示見学 (奥田元宋・小由女美術館ボランティア)	9月11日(水)	15人
美術作品鑑賞と資料館展示見学 (吉舎中学校・1年生)	10月9日(水)	22人
美術作品鑑賞と資料館展示見学 (いきいきサロン花水木)	10月17日(木)	12人
おもてなしプラン事業 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学 (日彰館高校・広島大学留学生)	11月9日(土)	48人
企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学 (吉舎保育所)	令和7(2025)年 1月18日(土)	11人
合 計		135人

イ ワークショップ事業

日常にあるものを利用したモノづくりを通して、芸術・文化の一端に触れ 制作の面白さを実感し美術に対する関心をより深めてもらうことを目的に「張り子人形の絵付け体験」を企画・周知したが、応募がなくやむなく中止とした。

※美術館あーとあい・きさ (307日間) 2,437人

※吉舎歴史民俗資料館 (233日間) 226人

合計 307日間 2,663人

○ 総入館者数比較

年 度	入 館 者 数
令和 6 年度	2,663 人
令和 5 年度	3,218 人
増 減	△555 人